

○謝 ……ごとわる。いとまじいをする。

○葷膾……くさい野菜。ねぎ・んにくの類。腥料理、肉の料理。ここで「膾」はくさい蔬菜とからい蔬菜。仏家は戒めて食しない。

▼葷菜……「爾雅」「釋草、蔬」に「蒜、説文云、葷菜也」「管子」「立政」に「瓜瓠葷菜百果不備具」の例、「管子」

「山至数」に「民之能樹瓜瓠葷菜百果、使蕃育者、置之黄金一斤、直食八石」の用例が見える。

『漢語大詞典』では「葷腥」の項で「指有辛味的菜和魚肉等食物、後專指魚肉等食物」と説明し、白居易「齋月靜居詩」の「葷腥每斷齋居月、香火常親宴坐時」の句を引く。

○合掌……両てのひらを合わせる。仏などを拝するときに行なう礼。合爪。

『南史』「虞原傳」に「合掌便絶」の例、隋煬帝「設齋願疏」に「合掌安禪、端坐示滅」の例が見える。『漢語大詞典』では、「仏教徒合両掌于胸前、表示虔敬」と説明し、沈約「齊禪林寺尼淨秀行狀」の「恒多東向視、合掌向空」の用例を引く。

119 ○歸依……仏説・仏法を信仰し仏にすがる。仏の威徳に心を傾けて、信仰すること。

李頎「宿瑩公禪房聞楚詩」に「始覺浮世無往著、頓令心地欲歸依」、白居易「愛詠詩詩」に「辭章諷詠成千首、心行歸依向一乘」の例が見える。

『漢語大詞典』では、「仏教語、信仰仏教者の人教儀式。因対佛、法、僧三宝表示歸順依附、故称」と説明し、慧遠の『大乘義章』「卷十」の「婦投依伏故曰歸依」の例、また陳徐陵「東陽双林寺傳大士碑」の「州鄉媿伏、遠邇歸依」の例を引く。

120 ○廻心……(仏教語) 自己の迷いに気づいて仏教の教えに従う。心をかえる。心を改める。回心。